

学科 学年	全学科 3年	科目 分類	社会と文化 Society and Culture	講義 選択	H18 通年 2単位	学習教育 目標 A	担当	野澤正信, 佐藤崇徳 平田陽一郎, 八十川 徹
概要	本科目は、国際社会を生きるにふさわしい教養を培うための総合科目である。我々がおかれている現代社会の風土、コミュニティ、思想・文化を、哲学、歴史学、地理学など人文・社会科学および自然科学をも含めた学際的な視点から論じる。自然や文化の多面的な諸相に触れながら知的好奇心を高めさせることを目的とする。複数の教員が各々の専門分野から題材を選び7講を担当するオムニバス形式の授業科目である。							
科目目標 (到達目標)	世界の諸地域の風土、文化を理解し、多面的なものの見方ができる。 現代社会の諸問題に対して積極的に関心を持つことができる。							
教科書 器材等	教科書は使用しない。適宜、プリントを配布するほか、ビデオ等を用いる。							
評価の基準と 方法	各教員が担当分について評価をおこない、それらを合わせて全体の評価とする。 各教員による評価の方法と基準については、第1回のガイダンスにおいて説明する。							
関連科目	地理、歴史							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		ガイダンス						担当：野澤正信
第2回		世界の宗教思想	(1)	世界の宗教とその思想				担当：〃
第3回		〃	(2)	ユダヤ教				担当：〃
第4回		〃	(3)	キリスト教				担当：〃
第5回		〃	(4)	イスラム教				担当：〃
第6回		〃	(5)	インド仏教				担当：〃
第7回		〃	(6)	神道				担当：〃
第8回		〃	(7)	日本仏教				担当：〃
第9回		日中交流二千年	(1)	倭奴国と邪馬台国				担当：平田陽一郎
第10回		〃	(2)	三国志の世界				担当：〃
第11回		〃	(3)	遣隋使				担当：〃
第12回		〃	(4)	遣唐使				担当：〃
第13回		〃	(5)	蒙古襲来				担当：〃
第14回		〃	(6)	倭寇と勘合貿易				担当：〃
第15回		〃	(7)	日清戦争から日中戦争へ				担当：〃
第16回		国際紛争の火種	(1)	石油の現状と石油支配				担当：八十川 徹
第17回		〃	(2)	産油国と消費国、日本の石油事情				担当：〃
第18回		〃	(3)	食糧自給の地域的特色(飢餓と飽食)				担当：〃
第19回		〃	(4)	世界の人種・民族問題				担当：〃
第20回		〃	(5)	世界の領土問題				担当：〃
第21回		火山国 — 日本	(1)	火山の生成と分類				担当：〃
第22回		〃	(2)	郷土の火山 — 富士山・箱根山				担当：〃
第23回		都市と公共交通	(1)	日本における都市の現状				担当：佐藤崇徳
第24回		〃	(2)	クリスタラーの中心地理論				担当：〃
第25回		〃	(3)	都市内部構造とインナーシティ問題				担当：〃
第26回		〃	(4)	公共交通の現状と課題				担当：〃
第27回		〃	(5)	広島市に見る都市内公共交通の現状				担当：〃
第28回		〃	(6)	ヨーロッパで導入・活用されるLR T				担当：〃
第29回		〃	(7)	国内での都市再生と交通改善の動向				担当：〃
第30回		まとめ						担当：野澤正信
※ 第2回～第29回は、1人の教員が担当する7回の授業をひとまとまりとして、クラスによって順序が異なる。								
オフィス アワー	各教員のオフィスアワーについては、第1回のガイダンスにおいて説明する。							
授業アンケート への対応								
備考								
更新履歴								